

第 170号

発行日  
2011. 3. 22

# ふれあい通信

発行 医療法人社団 矢野神経内科医院 TEL (0766) 82-5150  
☎934-0011 射水市本町1-13-1 FAX (0766) 82-5110

印刷  
志貴野苑

## 医院の廊下を華やかに飾る 作品展



### いかがでしたか？

#### こけし

「いつもありがとうね」という言葉と笑顔をもたらした。「なんにもしてないよ」と言うと「いつも声をかけてくれて、いつも褒めてくれるから嬉しい」と言われた。▼デイサービスにやってくる

女性群の服装は様々だ。毎日、利用者様をお出迎えし、コートやカーディガンを預かりハンガーにかけていると、少し暖かくなってきたから薄着になったな、春めいてきたから明るい色の服が多くなったなど、そんな事に気付く。▼血圧を測りながらふと目に留まる、レトロな花柄、春らしい若草色、柔らかく編まれたニット。自然と口をひいて「今日も可愛いですね」「春らしい素敵なお色ですね」「自分で編んだの？」そんな台詞がこぼれ落ちる。すると皆さん、見た事もない、まるで少女のような笑顔になって「昔の服やねけー」と笑う。▼結局の所、女性は幾つになっても女性なのだ。高校生の女の子も、90歳のおばあちゃんも何も変わらない。幾つになってもオシャレが好きで幾つになっても褒められると嬉しい。▼私は褒めようと思って褒めているわけではない。本当に可愛い素敵だなと思うからそう言葉にするだけだ。ただ、そんな何気ない言葉で誰かの心を嬉しくさせているなら、こんなに嬉しい事はないと思う。▼「いつもありがとうね」という言葉と笑顔をもたらした。きつと今まで誰にももらったプレゼントより嬉しく価値のあるものだ。▼日に何度も「ありがとう」と言われる。今日見たテレビで「人はありがとうを言うために生きている」と言っていた。だとしたら、デイサービスに来て下さっている皆様は、きつと長生きだ。

「おつがふ」の笑顔に「おつがふ」



# 矢野 Drコーナー



## 働くことの意義

院長 矢野 博明

平成17年7月20日、北日本新聞に「なぜ、我々は働くのかー仕事の思想」と題した田坂広志氏の講演が発表されていた。

私も、人のために働いているという思いと、働いている生きがいと、自分自身が仕事を介して少しずつ高められているのだという思いを漠然と持っていました。

田坂氏の話は私自身得る所が多く、いわゆる眼からうろこの感でありました。今再び当医院の職員に講演の要旨を述べ、今働いている意義を確かめて欲しいと願っております。

仕事においては、お客さまの心を敏感に感じ取り、瞬時に、細やかに心を配らなければなりません。お客さまの心の働きを感じ取る。お客さまに語る言葉を選び、心の姿勢を正すという修練は最高の修練です。

仕事の報酬は、一つは給料、もう一つは役職や地位です。それ以外に目に見えない三つの報酬があります。

第一は職業人としての能力、一生懸命に仕事に取り組むならば、腕が磨かれることに大きな喜びが生まれます。

第二は働き甲斐ある仕事です。上司や同僚と夢を語り合い、働き甲斐のある職場であり、仕事のスキルが向上してくると、自分の職場だけでなく社会全体に貢献できる。

第三は人間としての成長です。仕事で得た人間的成長は死ぬまで失われることはありません。成長するためには、日々の経験から深く学ぶための反省であり、心の師匠を持つことです。また初心の大切さであり、夢を持つことの大切さです。

お客さまの目の動き一つで気持ちがわかる。その表情から無言のメッセージを読む。相手の心が見えてくるようになること。また熟練のマネジャーは、職場を徘徊しただけで職場の空気や雰囲気や鋭く感じ取ります。集団の心が見えているかが重要です。

お客さまに接する時に最も大切なものは「共感」の心です。相手に深く共感する力こそが「人間力」と呼ばれる力です。人間力を磨くための唯一の道は、人間の心と正対する、相手の心に向きあい、真剣にやりとりするものです。

田坂氏は「我々が精一杯の力を尽くして歩むならば、必ずその後ろ姿を見ている人々がいる。そしていつか彼らが、その夢を実現してくれることを信じている」と話しています。

私は今している仕事は私をとりまく人々の役に立っていると信じていますし、人々と接することによって自らが人として成長していってくれると確信しています。そして今よりも一歩でも素晴らしいサービスを提供することによって、生き甲斐を感じ、夢の実現へと持っていくことが出来るのだと考えています。生きていることを喜び、感謝する。私は仕事を介してそれを実感しております。

### 東北地方太平洋沖地震お見舞い

2011年3月11日に三陸沖で発生いたしました東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、家屋、家財を失い、寒さ厳しい中避難所での生活を強いられている被災地の皆様、また関係各位に心よりお見舞い申し上げます。

4月より、矢野博一医師が副院長に就任し、4月5日より勤務致します。専門分野は、消化器内科です。今まで週1回であった胃カメラ検査が、火曜と土曜の週2回となります。又、必要に応じ適宜対応していきたいと思っております。内科全般は副院長が、脳疾患等は院長が診察します。皆様のご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 就任のごあいさつ

副院長 矢野 博一

皆さんこんにちは。矢野博一（やのひろかず）です。4月から矢野神経内科医院で副院長として勤務することとなりました。昭和45年6月4日生まれ、ふたご座のA型です。私は富山で生まれたのですが、父の仕事の関係で小学校2年生まで宮城県の鳴子温泉というところで育ちました。北陸以上に雪が多く寒いところでしたが、子供の頃は雪が積もると嬉しくてカマクラを作ったり、ソリで滑ったりして夕方近くまで遊んでいた記憶があります。冬には小学校の1時間目から6時間目までがスキーの授業で、スキー場まで学校から歩いて行き、飽きるほどスキーをやってまた歩いて帰ってきて1日が終わりといった日もありました。暖房はコークスを燃料にしたダルマ型のストーブだったのを覚えています。たまにストーブ係りが遅刻して教室がとても寒くて困った事もありました。

小学3年生から高校卒業までは新湊ですごしましたが、大学は石川県の金沢医科大学に入学しました。卒業後はそのまま消化器内科に入局しました。最近の研修医は国家試験に受かった時点では何をしたいかがまだ具体的に決まっておらず、2年間の研修期間中にどの医局に入るのかを決める人が多いようですが、私は学生（5年生）の時から消化器をやりたいと決めていました。内科のなかでも特に消化器内科は検査の種類が多い科です。多くの検査・手技を自分でこなせるようになりたかったのが選んだ理由です。その検査の代表が胃カメラです。胃カメラはこれからも特に力を入れてやっていこうと思っています。ちなみに、父には申し訳ないのですが、神経内科を選ぶつもりは全くありませんでした。入局後は少しずつですが、検査を習得していきました。最初に一人で行えるようになったのは肝生検でした。10年間で延べ200人以上の検査は行ったと思います。それから胃カメラ、胃透視、大腸ファイバーを覚えて経皮経肝胆管ドレナージ、経カテーテル的肝動脈塞栓術、内視鏡的乳頭切開術、胆管ステント挿入術、ラジオ波焼灼療法、食道静脈瘤硬化療法、内視鏡的粘膜下層剥離術などすべて自分一人で行えるようにはなりました。大学院にも進みましたので、学位も「アルコール性肝障害患者におけるCYP2E1誘導に関する研究－単核球CYP2E1mRNA量の検討－」という今思うと何だか訳の分からないタイトルで修得することができました。

大学では検査が多いと昼ごはんが食べられない日がしばしばありました。平日は自宅に帰るのが22時頃で、それから夕飯を食べて、風呂に入ってしばらくしたら寝る、朝は7時に出勤という日々でした。研修医の時は夜遅くなって帰宅するのが面倒になったら大学でそのまま寝て、翌朝少し早起きをして自宅にシャワーを浴びに帰るということをしていました。学会の前などは1週間泊まりこみで準備をしていた（させられていた）こともありました。4月からは少し時間的な余裕ができそうですので、生活習慣には少し気をつけようと思っています。というのもこのような生活のせいか完全にメタボ予備軍になってしまいました。まずはお腹まわりの脂肪の退治からです。去年から始めた自転車は（怪我のない範囲で）続けていこうと思っていますし、食事面もバランスを考えていきたいと思っています。フィットネスセンターにも通いたいと思っています。

矢野神経内科医院は今年で開院26周年を迎えます。施設も古くなってきていますし、時代の流れにあわなくなってきた部分もあると思います。今年には外来診察室のリフォーム、画像管理を含めた電子カルテの導入などを予定しています。ただ、カルテの移行期間中は多少のご迷惑をかけることがあるかもしれません。

いろいろ書きましたが、良くも悪くも矢野神経内科医院に少し新しい風を吹かそうと思っています。院長とも協力して改善すべき点は少しずつ改善していこうと思っています。



# 第24回 矢野医院作品展 開催

平成23年3月4日～3月10日



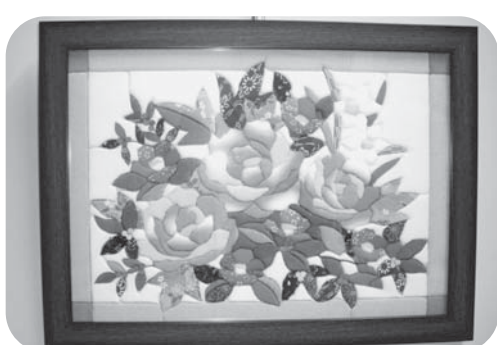
平成23年3月4日(金)～3月10日(木)、矢野医院作品展が今年も開催できました。今年で24回目を迎え、出品者34名、作品数48点でした。



今年の作品の多くは、各自自宅で作成されたものです。この作品展に向け取り組まれた作品や、孫・娘へと思いこめて作られたものもあります。毎年出品されている方々もおられれば、今年初めてという方も多くおられました。今まで何も作品を作った事がない方でも、何か始めてみようかな？という思いが、1つ1つの作品になりました。



この作品展は、当院・当事業所を御利用されておられる方はどなたでも出品できます。来年も素敵な作品をお待ちしております。あなたも一緒に参加してみませんか？





# 第18回 在宅介護家族の会 総会・新年会

2月27日午後より、当院2Fの癒さぁフロアに於いて、第18回在宅介護家族の会総会・新年会が行われました。当日、日曜日にもかかわらず、参加して下さった会員の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



総会では、昨年度の活動報告、会計報告、23年度の活動計画、予算計画と報告が続き、出席された会員の皆さんの承認を頂きました。

新年会では今年はエスケーシーデリさんのご協力のもと、かけ中やオードブル等、沢山用意して頂きました。(中でも一番の人気は、昆布のおにぎり?!)

スタッフによる矢野スコッパーズの演奏。おわら踊り、カラオケ…と、お腹がよじれる程笑い、皆で楽しみました。



在宅介護において大切なのは、まず、介護されている方が元気である事です。これからも在宅介護家族の会では、会員の方々が気軽に話し合える情報交換の場を、元気になる機会を提案していきたいと考えております。一緒に楽しみましょう!!



入会のお申し込みは随時受け付けております

在宅介護家族の会 事務局



日差しも暖かく  
なり、過ごしやす  
い季節になってき  
ました。  
草木の芽、鳥の  
さえずり、暖かい  
春の風が気もちも  
身体も軽やかにし  
てくれますね。外  
に散歩に出るのが  
楽しみです。

# 癒さあ だより



## 節分イベント

1月28日～2月3日  
まで『鬼退治&巻き寿  
司食べよう!!』イベン  
トを行いました。  
いつも通り、利用者  
の皆様と午後の体操  
を終え、新聞ボール  
投げゲームを始めよ  
うとしたその時、  
「うおおおー!!」  
と、大きな唸り声  
をあげながら青鬼が  
突然乱入!!  
「鬼が来たぞー!!」  
「退治せんなん」



と、利用者様の手に持  
たれていたボールを矢  
継ぎ早に鬼へめかけ、  
投げる投げの総攻撃。  
始めは勢よく暴れて  
いた鬼も、皆様の気  
迫に負け、撃沈。  
見事、鬼退治成功と  
あいなりましてござ  
います。



鬼(厄)も退治できまし  
て、その後は職員が腕  
に巻きつけて作った巻  
き寿司を召し上げてい  
ただきました。

しかし、それだけでは  
なんなので、今年の  
恵方(南南東)に向か  
って福が逃げない様  
に黙々と召し上げて  
いただきました。  
皆様が今年も一年  
平穏無事に過ごせ  
ます様に☆



1月23日(土)、癒さあ  
で、ボランティア団体「  
矢車草の会」の皆様  
による「車イス  
ダンス」が行われ  
ました。  
懐かしい曲に合  
わせて、伸び伸  
びと手足を動か  
す間に利用者  
の皆様は笑顔  
が浮かびまし  
た。  
途中でスタッフ  
も輪の中に入  
り、レクリエ  
ーションは大  
盛り上がり。  
会場の空気が  
一体となった  
楽しい時間  
はあっという  
間に過ぎてい  
きました。

## 車イスダンス 矢車草の会 in癒さあ



# 海王デイサービス ショートステイだより



1/4~1/10の間、近くの八幡神社に初詣に行ってきました。外は雪や雨の為、天候が悪く、寒かったのですが「今年も参れて良かった！」と大変喜んでおられました。本年も皆様にとって良い年になりますように…😊



1/31~2/5にかけて「節分」を楽しみました。季節を感じてもらうため、皆さんで「春よこい」「春の小川」「春がきた」、春にちなんだ歌を合唱しました。豆まきは例年通り、新聞紙を丸めて作った新聞豆を投げて鬼退治しました。今回は男性スタッフの他に利用者様にも変装していただき頑張ってくださいました。どの鬼が誰だか皆さんわかりましたか？

おやつには、和菓子、ミルクティー、緑茶を召し上がっていただきました。



海王のフロアにおひな様を飾りました。3月3日は桃の節句。この日の昼食は豪華な御膳ができました★



- メニュー
- 散らし寿司
  - 天ぷらの盛り合わせ
  - ふんわり花形豆腐
  - 桜もち



1月2日、絆公演・法話会がありました。ありがとうございました！

## 訪問看護ステーション「ふれあい」だより

「あんたぁ、このっさん、いつ死なはんがいね」と介護者の方が話される事があります。言葉だけ聞くと冷たく感じますが、本当は愛情のこもったあたたかい言葉です。

長年介護されていると、介護者自身も高齢や体調をくずされたりし、いつまで家で看れるかな？看てあげたいな。少しでもこの人より長生きせんなん、と色々な思いがあります。長生きしてほしい、元気でいてほしいと思う気持ちは常にもっておいでますが、自分の健康状態により最後まで看れるかな、自分が看れなくなったらどうなるかな？ここまで一緒にいたもん自分が元気なうちに、この人の最期をちゃんと看とりたいと様々な思いが最初の言葉につながってきます。心から思い深い愛情があるからこそでてくる言葉だと思います。訪問介護をしていて、このような心のある言葉をたくさん聞く事ができうれしく思います。



## 地域リハビリテーションだより

医療やスポーツの分野においてストレッチは、体のある筋肉を引っ張って伸ばすことをいいます。

### 効果としては

1. 筋肉ならびに結合組織の柔軟性の改善
2. 筋肉の緊張緩和
3. 血流改善
4. 神経機能の向上
5. 筋萎縮の抑制

などがあり、これらは筋痛の緩和や関節可動域の改善、傷害予防などのメリットをもたらします。関節を動かして目的の筋肉をゆっくり伸ばし、適度に伸びたところでその姿勢を適当な時間保持します。背筋や脚の後ろ側の筋肉のストレッチは、腰痛予防に有効なので無理のない範囲で継続しておこなうと良いです。

## 居宅介護支援事業所だより

ぼかぼか日和りとは言えませんが、お日様の出ている日も多くなり春が感じられる季節となりました。3月は入試や卒業式を終え、4月からの新学期や新生活を前に準備や引越しなど何かと忙しくなる時期でもあります。しかしその反面、これから始まる新しい生活に期待が膨らみ楽しく前向きな気持ちになれる時期でもあります。

ところで春と言えば桜を想像する方も多いと思いますが、今回は既に見ごろを迎えている梅についてお話したいと思います。梅の開花時期は1月中旬から4月上旬で、1月中旬頃から咲き出すものと3月中旬頃から咲き出すものなどさまざまです。原産は中国で奈良時代に遣隋使が持ち帰ったと言われていています。奈良時代は白梅が、平安時代は紅梅がもてはやされました。万葉集では梅についての歌が百首以上詠まれており植物の中では萩に次いで多いそうです。

幹がゴツゴツしているのが梅の特徴で白梅の場合、実が梅干しとなります。江戸時代に各藩が非常食として梅干しを作ることを奨励したため全国で梅林が見られるようになりました。梅は桜ほど華やかなイメージはありませんが、咲き方も散り方もゆっくりで控えめだけれどもマイペースで頑張っている印象を受けます。桜も良いけれど梅も観賞してみるのも良いかなあと思う今日この頃です。





## お寿司 食べました



2月21日、総合ケアセンター海王にて、利用者もスタッフも待ちに待った「年に1度のお寿司ランチ」がありました。

食べれた方は、ラッキーでした。食べれなかった方は、ごめんなさい。年に1度とはいわず、これからも、ちょいちょい待ってま〜す。



## NewFace



地域リハビリテーション部  
作業療法士

津呂橋 景子

好きな食べ物 ケーキ、アイス  
趣味 お菓子作り

1月から勤務しています。9月に結婚して大阪から地元の富山に帰ってきました。仕事を始めてから、利用者様からパワーを頂いているので、私もお返しできるよう頑張りますのでよろしく願いいたします。

## 奈古中学生訪問



2/12、射水市立奈古中学生が訪問に来てくださいました。吹奏楽部によるイントロクイズ、

演奏、クイズなど楽しい時間を共に過ごす事ができました。

ありがとうございました。

## ケアハウス海王だより

### ☆リンパマッサージ講習会☆

日頃から足のむくみのために「歩きにくい足が重い、などの症状でお悩みの方のためにリンパマッサージを教えていただきました。

リンパ節（さこつ、わきの下、足のつけ根）



に向かって体の

中の毒素を出すようにマッサージすると良いそうです。実際にマッサージしてもらおうと、みるみるうちに足のむくみがとれて、皆びっくり！マッサージの効果を実感することができました。これからも続けて軽やかに歩きましょう。



「作道ヘルスポランティア」の方々に腹話術や踊り等を披露してもらいました。



医療法人社団  
矢野神経内科医院

矢野神経内科のホームページ  
http://www.yanoshinkeinaika.or.jp/  
是非アクセスください。

- 矢野神経内科医院  
〒934-0011 射水市本町1丁目13-1  
各部所共通FAX0766-82-5110
- 矢野神経内科医院 TEL0766-82-5150
  - 矢野神経内科デイケア 定員 午前20名 午後20名  
TEL0766-82-5128
  - 矢野神経内科訪問リハビリテーション  
TEL0766-73-7703
  - デイサービス癒さぁ 定員30名  
TEL0766-73-8155
- 総合ケアセンター『海王』  
〒934-0023 射水市海王町25番地  
各部所共通FAX0766-83-7166
- 海王デイサービス 定員40名  
TEL0766-83-7111 FAX0766-83-7122
  - 海王ショートステイ 26床  
TEL0766-83-7111 FAX0766-83-7122
  - 訪問看護ステーション『ふれあい』  
TEL0766-83-7155
  - ヘルパーステーション『海王』  
TEL0766-83-7133
  - 海王居宅介護支援事業所 TEL0766-73-7737

社会福祉法人海友会

- 軽費老人ホーム・ケアハウス『海王』  
〒934-0023 射水市海王町25番地  
carehouse@yanoshinkeinaika.or.jp  
TEL0766-83-7667 FAX0766-83-7668  
定員54名

矢野医院各事業所

メールアドレス

矢野神経内科医院総合窓口  
office@yanoshinkeinaika.or.jp  
矢野神経内科医院外来・検査室  
kensa@yanoshinkeinaika.or.jp  
矢野神経内科医院デイケア・リハビリ  
daycare@yanoshinkeinaika.or.jp  
デイサービス癒さぁ  
iya\_sah@yanoshinkeinaika.or.jp  
総合ケアセンター海王総合窓口  
kaiou-care@yanoshinkeinaika.or.jp  
海王デイサービス・ショートステイ  
kaiou-day@yanoshinkeinaika.or.jp  
ヘルパーステーション海王  
helper@yanoshinkeinaika.or.jp

お知らせ

外来診療担当医師（4月5日～）

曜日	午前	午後
月	院長 副院長	院長 副院長 2時半～7時
火	院長 副院長	副院長 2時半～6時
水	院長 副院長	能 沢 2時半～5時半 副院長 2時半～6時
木	院長	休 診
金	院長	副院長 2時半～6時
土	院長 副院長	院長 副院長 2時半～6時

※午前の診療 8時40分～12時

受付開始時間は、午前7時30分からです。

※月曜日のみ、午後7時までの受付になります。

※胃カメラは 火・土曜日の他、緊急時も対応致します。

※火・水・金の午後は、矢野院長訪問診療の為、上記の通りとなります。

※3月26日及び4月1日 午後の診療はお休みとなります。

補装具の相談日

・毎週木曜日 午前9時～9時半

補聴器の相談日

・第2、4火曜日 午後2時～3時  
（4F言語聴覚室）

休診案内

4月29日(金) 昭和の日  
5月3日(火) 憲法記念日  
5月4日(水) みどりの日  
5月5日(木) こどもの日

編 集 後 記

原稿をお寄せ下さった、皆さんありがとうございました。3月11日、東北地方太平洋沖地震がおきました。連日TV等で亡くなられた方や行方不明の方も大勢おられると報道されてます。こちらでも何度か地震がおきていますね。

無事であってほしい…皆の願いが届けばいいなと思います。